

# クラウドサイン連携の設定ガイド

## 帳票DX for Salesforce

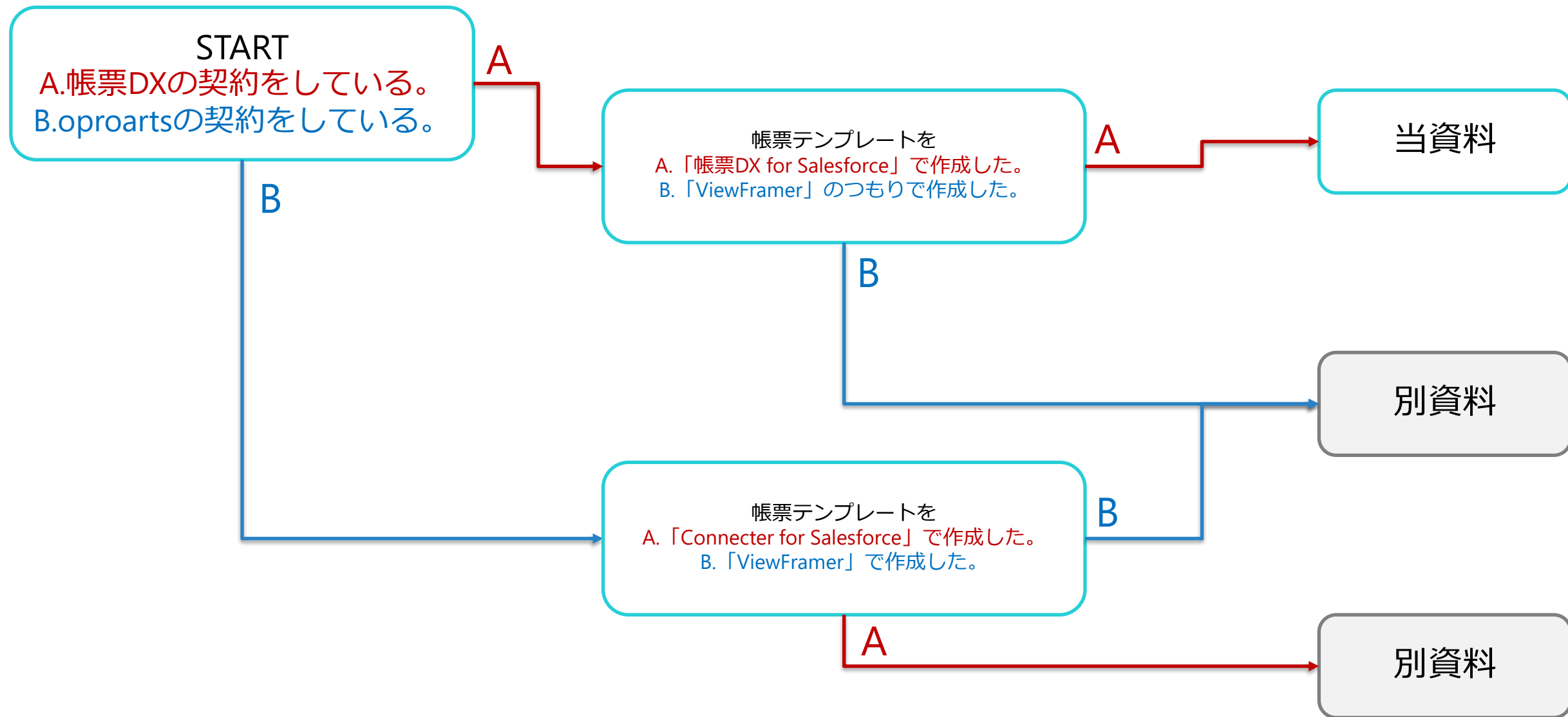
DX推進本部SE部



# 本資料について

- 同梱している以下の設定ファイルの変更部分を案内するガイドです。
  - ① D3Worker用「クラウドサイン連携サンプル設定（帳票DXテンプレート）.d3w」
- 以下動作を想定した手順一覧となります。
  - ・ クラウドサイン送付
  - ・ クラウドサイン送付後の各ステータスに応じたSalesforce項目更新
    - ・ 送信後：ステータスを送信済みに変更
    - ・ 締結済み：ステータスを締結に変更&締結ファイルの添付
    - ・ 却下：ステータスを却下に変更
- 最低限の項目のみ解説しています。
- 必須項目は「\*」で表現しています。

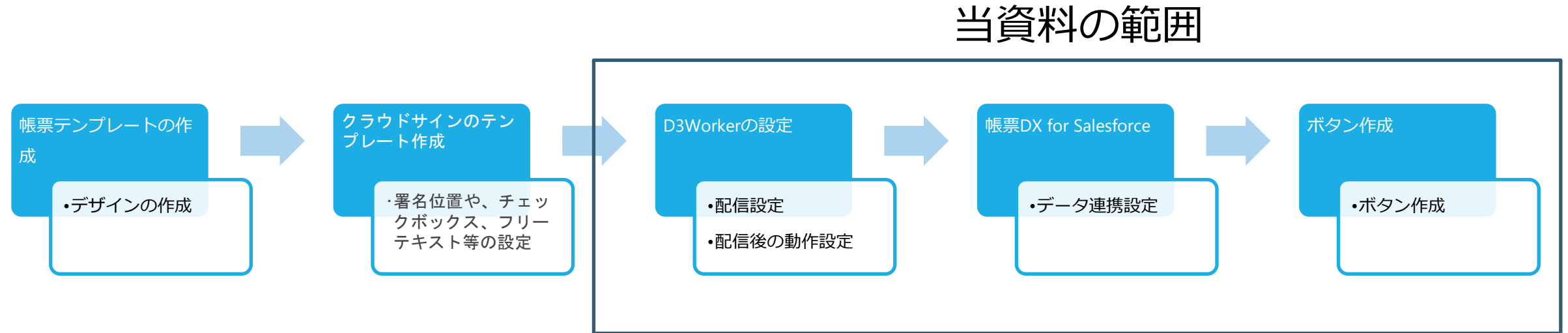
# 本資料について



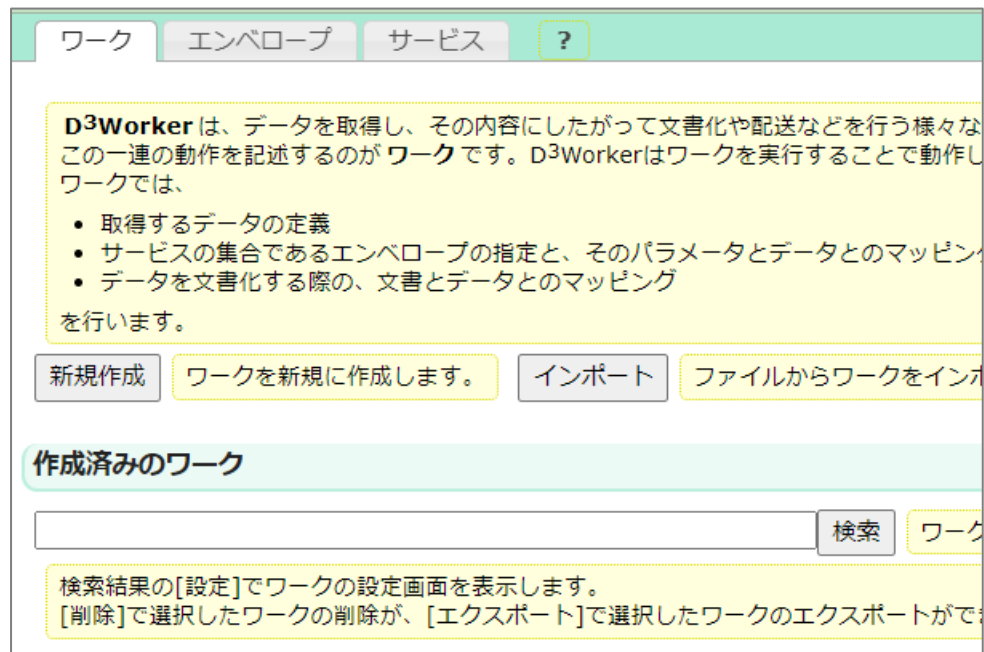
# 事前準備

1. Salesforceに帳票DXがインストールされ、認証情報が登録されていること
  - セットアップガイドを一通り行ってください。
2. クラウドサインのテンプレートのご用意
  - 署名の位置等を設定いたします。
3. 帳票テンプレートが作成済みであること
  - XAデザイナーから、クラウドサインのテンプレートと同じフォーマットでご用意ください。

# 全体設定の流れ



# D3Workerにログインする



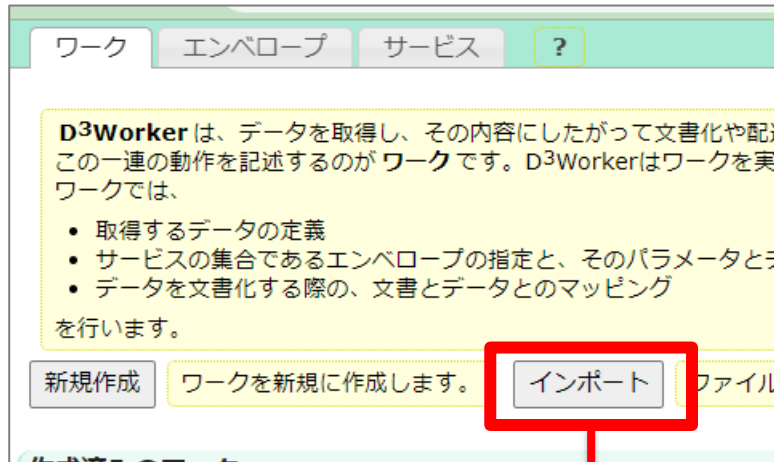
1. 弊社から認証情報が記載されたテキストファイルが送付されています。

1. 見つからない場合は、営業・SE・サポートのいずれかにご連絡ください。

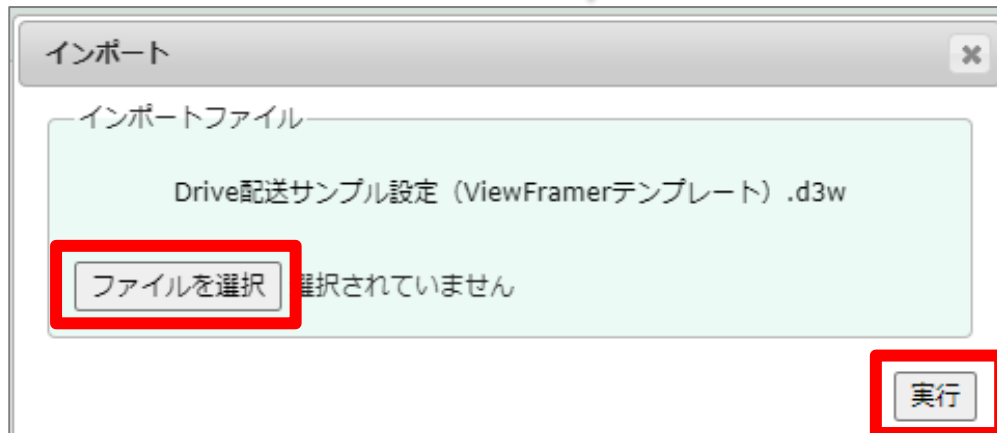
2. 「D3Worker.txt」内の「設定画面」URLをブラウザで開いてください。

1. UID、UPWも同テキスト内に記載されています。

## クラウドサイン連携サンプル設定に含まれる.d3wファイルをインポートする



1. 「ワーク」タブの「インポート」ボタンをクリックします。
2. ファイル選択で、「クラウドサイン連携サンプル設定に含まれている.d3wファイルをアップロードし、実行をします。」
3. 「検索」をクリックすると、インポートした設定が表示されます。



# 当資料内でログインする画面一覧

1. D3Worker
2. クラウドサイン
3. Salesforce
  1. 使うオブジェクト
  2. 帳票DX for Salesforceの設定画面
4. XAデザイナー



# D3Workerの構成

配布サンプルは以下の構成となっています。

1つのボタンに対して、3つのワークが1から3の順番で動作します。

## 1. クラウドサイン連携（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

### 1. エンベロープ：クラウドサイン連携（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

- 文書化サービス:クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce
- 配送サービス：クラウドサイン連携\_テンプレート配送

## 2. クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行

### 1. エンベロープ：クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行

- 文書化サービス：クラウドサイン連携 ダミー文書
- 配送サービス：クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション

# D3Workerの構成

配布サンプルは以下の構成となっています。

前ページの1,2が動作後、クラウドサインのステータスを元に以下のどちらかが動作します。

## 1. クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行

### 1. エンベロープ：クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行

1. 文書化サービス：クラウドサイン連携 アップロード文書
2. 配送サービス：クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

## 2. クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行

### 1. エンベロープ：クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行

1. 文書化サービス：クラウドサイン連携 ダミー文書
2. 配送サービス：クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping.

## サービスの設定<配送>

- ・クラウドサイン連携\_テンプレート配送
- ・クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション
- ・クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

# 【サービス】クラウドサイン連携\_テンプレート配送

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行され

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されて

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携_テンプレート配送	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携\_テンプレート配送」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】クラウドサイン連携\_テンプレート配送

サービスの設定

名称

クラウドサイン連携\_テンプレート配送

メモ

配布用のひな型です。

クラウドサイン テンプレート - ワーク実行

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

クラウドサインのテンプレートに設定された宛先や入力項目を利用します。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、  
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`  
を設定してください。

クラウドサインへの接続

エンドポイントURL

https://api.cloudsign.jp

クライアントID

※※クライアントIDを入力してください※※

AppID

接続の確認

テンプレート

テンプレートID

※※テンプレートIDを入力してください※※

読み込み

テンプレートIDは、クラウドサインのテンプレート概要画面のURLから得られます。  
[読み込み]すると、テンプレートから宛先の情報を読み取り、[宛先]に設定します。

## 1. 名称

1. 名称は任意のためすべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

1. 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. Hook URL

1. 値をコピーしクラウドサインの管理画面「高度な設定」にURLをペーストしてください。※該当ページは後述します。

## 4. エンドポイントURL

1. 本番環境の場合は値を変更しないでください
2. Sandbox用の場合は下記リンクとなります。  
・ <https://api-sandbox.cloudsign.jp>

## 5. クライアントID

1. クラウドサインの管理画面から発行してください。  
※該当ページは後述します。

入力が完了しましたら、「接続の確認」をクリックし  
「接続に成功しました。」と表示されたら成功です。

# <Hook URLをクラウドサインへ入力>



## ◆ Hook URLの入力手順

1. D3WorkerよりHook URLをコピーしてください。
2. 「Hook URL」設定方法
  1. クラウドサインにログインをします。
  2. ログイン画面の右上から「管理画面に移動」を選択します。
3. メニュー「チーム設定」Hook URLの入力フォームにコピーした値を入力してください。



# <クライアントID取得方法>



## ◆ クライアントIDの取得手順

1. ログイン画面の右上から管理画面に移動を選択します
2. メニューから「クライアントID」を選択
  1. 新しいクライアントIDを発行するをクリックし  
クライアントIDを取得してください。
3. D3Workerに戻り、取得したIDを入力してください。



# 【サービス】クラウドサイン連携\_テンプレート配送

## テンプレート

テンプレートID	<input type="text" value="※※テンプレートIDを入力してください※※"/>	<input type="button" value="読み込み"/>
<div>テンプレートIDは、クラウドサインのテンプレート概要画面のURLから得られます。 [読み込み]すると、テンプレートから宛先の情報を読み取り、[宛先]に設定します。</div>		

## 配信時の動作

文書の扱い	<div>テンプレートのファイルを置き換える▼</div> <div>テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。</div>
書類の送信	<input checked="" type="radio"/> 送信する <input type="radio"/> 送信しない

書類	
タイトル	<input type="text"/>
送信先の名称	<input type="text"/>
契約締結日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
契約開始日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
契約終了日	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
自動更新の有無	<input type="button" value="指定なし▼"/>
解約通知期限	<input type="text"/> yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd
管理番号	<input type="text"/>
取引金額	<input type="text"/>
確認依頼メッセージ	<div><input type="text"/></div> <div>確認依頼メールに追加されるメッセージです。</div>
書類の転送	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない

## 宛先

<div>テンプレートの宛先に対して値を設定します。ここで設定しない値は、テンプレートの値が用いられます。 ただし、ワーク実行時に、この設定とテンプレートを含わせても、[メールアドレス]または[氏名]が空のままになる宛先については、この設定は無視されます。 また、書類を送信する場合、[メールアドレス]または[氏名]が空の宛先は、書類から削除されます。</div> <div>宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。</div> <div>ファイルアップロードはコーポレートブランド以上で使用できます。</div>
--

メールアドレス	氏名	会社名	アクセスコード	ファイルアップロード
---------	----	-----	---------	------------

## 共有先

<div>ワーク実行時に、[メールアドレス]または[氏名]が空の共有先は使用されません。</div> <div>宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。</div>
---

	メールアドレス	氏名	会社名	+	×
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
				+	×

## 1. テンプレートID

- クラウドサインのテンプレート概要画面からIDを取得してください。  
※取得手順は後述します。

## 2. 配信時の動作(現段階は編集不要です。)

- 文書の扱い
- 書類の送信

## 3. 書類(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類について設定を行います。  
※クラウドサインの書類情報に共有されます。

## 4. 宛先(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類の宛先を指定します。

## 5. 共有先(現段階は編集不要です。)

- 送付する書類の共有先を指定します。

## 編集不要箇所については後ほど

## エンベロープの設定時に編集を行います。



# 【サービス】クラウドサイン連携\_テンプレート配送

## クラウドサインへの送信後に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータCSVが渡されます。

実行するワーク	<input type="text"/>																												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>2</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>3</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>4</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>5</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×	2	<input type="text"/>		×	3	<input type="text"/>		×	4	<input type="text"/>		×	5	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×																										
1	<input type="text"/>		×																										
2	<input type="text"/>		×																										
3	<input type="text"/>		×																										
4	<input type="text"/>		×																										
5	<input type="text"/>		×																										
		+	×																										

## 契約の完了時に実行するワーク

ワークには、1行のUTF8のデータCSVと、契約が同意された場合には書類のファイルが渡されます。

### 契約が同意された場合

実行するワーク	<input type="text"/>												
ファイルのパラメータ名	<input type="text"/> <p>ファイルが複数ある場合はZIPしてワークに渡します。 パラメータ名が指定されていない場合はファイルは渡されません。</p> <p><input type="radio"/> 合意締結証明書を含める <input checked="" type="radio"/> 含めない <input type="radio"/> アップロードされたファイルを含める <input checked="" type="radio"/> 含めない</p>												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <p>フィールド値に入力項目のインデックスを指定すると、入力項目に入力された値が用いられます。 入力項目のインデックスは、テンプレートを[読み込み]すると得られます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×										
1	<input type="text"/>		×										
		+	×										

### 契約が却下・取り消しされた場合

実行するワーク	<input type="text"/>												
データCSV	<p>フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。</p> <p>フィールド値に入力項目のインデックスを指定すると、入力項目に入力された値が用いられます。 入力項目のインデックスは、テンプレートを[読み込み]すると得られます。</p> <table><thead><tr><th></th><th>フィールド値</th><th>+</th><th>×</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td><input type="text"/></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td>+</td><td>×</td></tr></tbody></table>		フィールド値	+	×	1	<input type="text"/>		×			+	×
	フィールド値	+	×										
1	<input type="text"/>		×										
		+	×										

## 1. クラウドサインへの送信後に実行するワーク

1. 実行するワーク：クラウドサインの送信時に実行する動作を指定します。  
※本資料ではSalesforceステータス項目を承認待ちに変更します。
2. データCSV：更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

## 2. 契約の完了時に実行するワーク

### 1. 契約が同意された場合

1. 実行するワーク：送付した書類が同意された場合の動作を指定します。  
※本資料ではSalesforceステータス項目を承認に変更&ファイル添付をします。
2. ファイルのパラメータ名(編集不要)
3. データCSV：更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

### 2. 契約が却下・取り消しされた場合

1. 実行するワーク：送付した書類が却下された場合の動作を指定します。  
※本資料ではSalesforceステータス項目を却下に変更します。
2. データCSV；更新するSalesforce項目のAPI参照名を入力しています。

# 【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション **検索** サービスの名称とメモを検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新\_セッション

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新_セッション
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. 項目\*

- クラウドサインにリクエストを送った後に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。
  - オプロ→クラウドサインのタイミングとなり、署名完了はしていない状態のことです。

項目

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	x
※更新したい項目のAPI参照名を※		x
※入力してください※		x
※不要な項目は※		x

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	x
Status__c		x

☒ 値が空白の項目を無視する

実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。  
チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない

# 【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新 **検索** サービスの名称とメモを検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除でき

名称	メモ
<b>クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新</b>	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのすべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. ログイン\*

- 「接続」ボタンをクリックします。Salesforceへのログイン画面が開くので、ログインして「許可」をクリックします。  
※Sandboxで検証する場合、「Sandboxへ接続する」をONにしてから「接続」をクリックします。

Salesforce Files [配送]

Salesforce Filesを使用して、ライブラリとオブジェクトにファイルを登録する配送サービスです。オブジェクトに対しては、ファイルを登録せずに、レコードの作成や更新だけを行うこともできます。

Salesforceへの接続

接続 接続の確認

☐ Sandboxへ接続する

このサービスを使用する[接続]すると、現在のSalesforceからSalesforceのアカウントD3Workerに接続します。

[解除]すると、D3WorkerからSalesforceへの接続を解除してください。解除後は、再び[接続]してください。

アクセスを許可しますか? | Salesforce - 職場 - Microsoft Edge

https://demoopronet2-dev-ed.my.salesforce.com/setup/secur/RemoteAccessAuthorizationPage.apexp?source=...

D3Worker

アクセスを許可しますか?

OPROARTS D3Worker さんが次の要求をしています:

- ID URL サービスにアクセス
- API を使用してユーザーデータを管理
- いつでも要求を実行

このサービスは、あなたの Salesforce へのアクセスを許可しますか? (あなたのログイン名ではありませんか?)

拒否 許可

個人設定に移動して、いつでもアクセス権を取り消すことができます。

© 2025 Salesforce, Inc. All rights reserved.

# 【サービス】クラウドサイン連携(帳票名)\_Status更新

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携(帳票名)_Status更新
メモ	配布用のひな型です。 クラウドサインの各ステータスに応じた動作を行います。

## 4. 項目\*

- クラウドサインの契約完了時に更新したいSalesforceの項目のAPI参照名を入力します。

項目

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	×
※更新したい項目のAPI参照名を※		×
※入力してください※		×
※不要な項目は※		×

削除

☒ 値が空白の項目を無視する

実行時  
チェッ

項目の値は、エンベロープで設定します。

API参照名	+	×
Status__c		×
	+	×

実行時の値が空白の場合のふるまいを指定します。  
チェックすると値が空白の項目は使用されません。チェックしない

A large blue circle and a smaller blue circle are positioned on the left side of the slide, partially overlapping.

## サービスの設定<文書化>

- ・クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce
- ・クラウドサイン連携 アップロード文書
- ・クラウドサイン連携 ダミー文書

# 【サービス】クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

検索

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce」をダブルクリックで開きます。



# 【サービス】クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce
メモ	配布用のひな型です。

## OPROARTS

### 基本情報

URL	<input type="text" value="https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade"/>
接続のタイムアウト <input type="text" value="30"/> 秒、読み込みのタイムアウト <input type="text" value="300"/> 秒	

### リクエスト内容

UID	<input type="text" value="必須※「ドキュメント出力用」"/>
UPW	<input type="text" value="必須※「ドキュメント出力用」"/>
ファイル形式	<input type="text" value="PDF"/>

接続の確認

## 1. 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. 基本情報 URL

- <https://xa-service.oproarts.com/compatible/Facade>を指定しています。

## 4. リクエスト内容欄\*

- D3Workerログイン時と同じUIDとUPWを登録してください。

## 5. 接続の確認

- 接続できることをご確認ください。

# 【サービス】クラウドサイン連携 アップロード文書

ワーク エンベロープ **サービス** ?

文書化や配送などを行う個々の **サービス** の設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携 アップロード文書 **検索** サービスの

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサ-

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	<b>クラウドサイン連携 アップロード文書</b>	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携 アップロード文書」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】クラウドサイン連携 アップロード文書

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携 アップロード文書
メモ	配布用のひな型です。

## アップロード文書

ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

リクエストパラメータ	<input type="text"/> 文書ファイルまたはテキストをD3Workerへ送信する際のHTTPリクエストパラメータ名を指定します。
文書名	<input type="text"/> アップロードされたファイル名よりも優先して用いられます。テキストが送信された場合の文書名として

## アップロードファイル

ZIPファイルの場合	解凍しない ▼ [アーカイブ順で解凍する][名前順で解凍する]を選択した場合、アップロードされたZIPファイルに含ま [文書名]は使用されず、ZIPファイル内のファイル名が使用されます。
------------	---

## テキストデータ

文字コード	シフトJIS ▼ 送信されたテキストを文書化する際の文字コードを指定します。
-------	--

## 1. 名称\*

- 名称は自由ですので変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## 3. リクエストパラメータ\*

- 変更なし

# 【サービス】クラウドサイン連携 ダミー文書

ワーク エンベロープ サービス ?

文書化や配送などを行う個々のサービスの設定を行います。  
サービスは、ワークの実行中にアクティブになったエンベロープによって、実行されます。

新規作成 サービスを新規に定義します。

定義済みのサービス

クラウドサイン連携 ダミー文書 検索 サービスの名

検索結果の[設定]でサービスの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したサービスを削除できます。ただしワークやエンベロープで使用されているサービスは削除できません。

名称	メモ
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携 ダミー文書
	配布用のひな型です。

1. 「サービス」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたサービスが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携 ダミー文書」をダブルクリックで開きます。

# 【サービス】クラウドサイン連携 ダミー文書

## サービスの設定

名称	クラウドサイン連携 ダミー文書
メモ	配布用のひな型です。

## ダミー文書

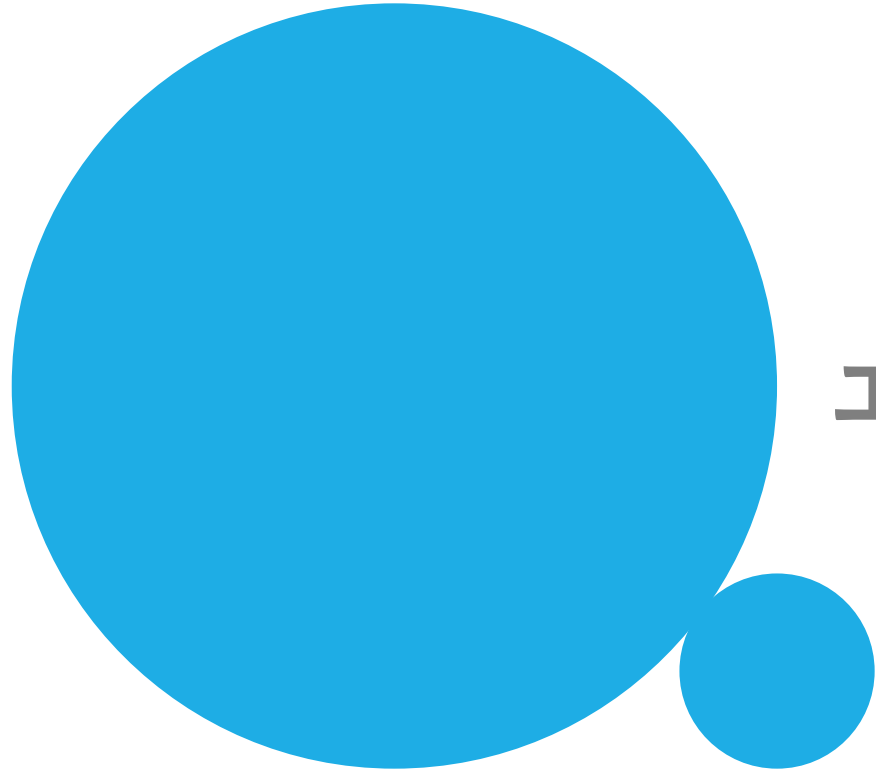
一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。  
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

## 1. 名称\*

- 名称は自由ですので変更いただいても問題ありません。

## 2. メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。



# エンベロープの設定

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単  
ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、  
これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

検索

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベ

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携（[帳票名]）_帳 票DX for Salesforce	配布用のひな型です。

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携（[帳票名]）\_帳票DX for Salesforce」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】 「基本」 タブ

名称	クラウドサイン連携（ [帳票名] ） _帳票DX for Salesforce
メモ	配布用のひな型です。
件名	<input type="text"/> 編集

## 「基本」 タブ

- 名称\*
  - [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。
- メモ
  - 検索ワードになります。自由にご変更ください。
- 件名
  - ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。



# 【エンベロップ】{○○}について ※重要※

クラウドサイン連携\_テンプレート配送

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。  
契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、  
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`  
を設定してください。

クラウドサインへの接続

クライアントID サービスの設定を用いる 編集

テンプレート

テンプレートID サービスの設定を用いる 編集

配信時の動作

文書の扱い テンプレートのファイルを置き換える▼  
テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。

書類の送信 ☒ 送信する ☐ 送信しない ☐ サービスの設定を用いる

書類

タイトル ※※任意のタイトルを入力してください※※ 編集

送信先の名称 ※※任意の送信先の名称を入力してください。 編集

契約締結日 {契約締結日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約開始日 {契約開始日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約終了日 {契約終了日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

自動更新の有無 指定なし ▼

## ● {○○}について ※重要

- Salesforceの項目を差し込むタグです。  
D3Workerでは「パラメータ」と表現しています。  
エンベロップでは、Salesforceから差し込む項目の位置を指定しています。
  - ※「サービス」ではパラメータを使用できません。
- 「サービスの設定を用いる」と記載されている項目
  - 適宜、要件に応じて変更してください。

{○○}（パラメータ）  
Salesforceのデータを差し込む箱

# 【エンベロープ】「文書化サービス」タブ

## 選択済みの文書化サービス

クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce

### 基本情報

URL

サービスの設定を用いる

編集

### リクエスト内容

UID

サービスの設定を用いる

編集

UPW

サービスの設定を用いる

編集

ファイル形式

PDF



- 「文書化サービス」タブはサービスの「クラウドサイン連携（[帳票名]） 文書化 帳票DX for Salesforce」を参照しています。
- 「サービスの設定を用いる」とある箇所はご要件に応じて変更できますが、今回は変更不要です。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

クラウドサイン連携\_テンプレート配送

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。  
契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、

`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`

を設定してください。

## クラウドサインへの接続

クライアントID サービスの設定を用いる 編集

## テンプレート

テンプレートID サービスの設定を用いる 編集

## 配信時の動作

文書の扱い テンプレートのファイルを置き換える▼  
テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。

書類の送信 ☒ 送信する ☐ 送信しない ☐ サービスの設定を用いる

## 書類

タイトル ※※任意のタイトルを入力してください※※ 編集

送信先の名称 ※※任意の送信先の名称を入力してください。 編集

契約締結日 {契約締結日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約開始日 {契約開始日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約終了日 {契約終了日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

自動更新の有無 指定なし▼

- 「配送」サービスタブでは「クラウドサイン連携\_テンプレート配送」を参照しています。
- すでに登録してあるパラメータは基本的には変更・削除しないでください。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

クラウドサイン連携\_テンプレート配送▼

クラウドサインへ文書を配信します。契約の完了（同意または却下・取り消し）をもって配送の完了とします。契約が完了した際に、D3Workerのワークを実行できます。

D3Workerが契約の完了の通知を受け取るために、クラウドサインの管理画面、「チーム」の「Hook URL」に、  
`https://d3w.ap.oproarts.com/d3w/a/_opro_salesdemo/service/cloudsign/callback_work`  
を設定してください。

クラウドサインへの接続

クライアントID サービスの設定を用いる 編集

テンプレート

テンプレートID サービスの設定を用いる 編集

配信時の動作

文書の扱い テンプレートのファイルを置き換える▼  
テンプレートのファイルを置き換えた結果、配置場所がなくなる入力項目は、書類から削除されます。

書類の送信 ☒ 送信する ☐ 送信しない ☐ サービスの設定を用いる

書類

タイトル ※※任意のタイトルを入力してください※※ 編集

送信先の名称 ※※任意の送信先の名称を入力してください。 編集

契約締結日 {契約締結日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約開始日 {契約開始日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

契約終了日 {契約終了日} 編集 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

自動更新の有無 指定なし▼

解約通知期限 yyyy-mm-ddまたはyyyy/mm/dd

管理番号

取引金額

確認依頼メッセージ  
確認依頼メールに追加されるメッセージです。

書類の転送 ☐ 許可する ☒ 許可しない

宛先  
テンプレートの宛先に対して値を設定します。ここで設定しない場合は、テンプレートの値が用いられます。  
ただし、ワーク実行時に、この設定とテンプレートを合わせても、[メールアドレス]または[名前]が空のままになる宛先については、この設定は無視されます。  
また、書類を送信する場合、[メールアドレス]または[名前]が空の宛先は、書類から削除されます。  
宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。

共有先  
ワーク実行時に、[メールアドレス]または[氏名]が空の共有先は使用されません。  
宛先、共有先で重複するメールアドレスは使用できません。

メールアドレス 氏名 会社名

1 サービスの設定を用いる 編集 サービスの設定を用いる 編集 サービスの設定を用いる 編集

## 1. テンプレートID

- クラウドサインのテンプレート概要画面からIDを取得してください。※  
取得手順は後述します。

## 2. 配信時の動作

- 文書の扱い：変更不要
- 書類の送信：変更不要

## 3. 書類

- 送付する書類について設定を行います。  
※クラウドサインの書類情報に共有されます。
- 動的にしたい箇所は{}で囲ってください。

## 4. 宛先

- 送付する書類の宛先を指定します。
- Salesforce項目の内容から宛先を指定したい場合は{}で囲ってください。

## 5. 共有先

- 送付する書類の共有先を指定します。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

## クラウドサインへの送信後に実行するワーク

実行するワーク	クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行	編集
データCSV	フィールド値に <code>[\$SERVICE.ID]</code> を指定すると、クラウドサインのドキュメント	
	フィールド値	
1	{インスタンスURL}	編集
2	{セッションID}	編集
3	{ユーザーID}	編集
4	{レコードID}	編集
5	{組織ID}	編集

クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行  
ワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

### CSVの形式

文字コード	シフトJIS
先頭行	<input type="checkbox"/> データとして使用しない

### フィールド

フィールド名	+	x
1 インスタンスURL	▼	x
2 セッションID	▲▼	x
3 ユーザーID	▲▼	x
4 レコードID	▲▼	x
5 組織ID	▲	x
CSVを取得	+	x

次に実行されるワークの  
データソースとイコールに  
なる。  
順番も同じにします。

## クラウドサインへの送信後に実行するワーク

- クラウドサインへリクエストを送った後に  
実行するワークを指定しています。
- データCSV
  - 「実行するワーク」の「データソース」に引き  
渡すデータをここで指定する必要があります。
  - 「クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行」  
のデータソースにフィールドを追加した場合、  
同じようにデータCSVを追加してください。

# 【エンベロープ】「配送サービス」タブ

## 契約完了後に実行するワーク

- クラウドサインから契約完了のフラグを受け取った後に実行するワークを指定しています。
- データCSV
  - 「実行するワーク」の「データソース」に引き渡すデータをここで指定する必要があります。
  - 「クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行」「クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行」のデータソースにフィールドを追加した場合、同じようにデータCSVを追加してください。

契約の完了時に実行するワーク

契約が同意された場合

実行するワーク

クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行

ファイルのパラメータ名

CloudSign\_file

フィールド値に [{\$SERVICE.ID}] を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。

フィールド値

1 {レコードID}

編集

クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行ワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード シフトJIS

先頭行 ☐ データとして使用しない

フィールド

フィールド名

1 レコードID

CSVを取得

次に実行されるワークのデータソースとイコールになる。順番も同じにします。

契約が却下・取り消された場合

実行するワーク

クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行

データCSV

フィールド値に [{\$SERVICE.ID}] を指定すると、クラウドサインのドキュメントIDが用いられます。

フィールド値

1 {レコードID}

編集

クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行ワーク

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード シフトJIS

先頭行 ☐ データとして使用しない

フィールド

フィールド名

1 レコードID

CSVを取得

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行 検索 エンベロープ

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除できません。

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(サンプル)_送信後実行	配布用のひな型です。 書類を送付した際に実行します。
<input type="checkbox"/>		

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_送信後実行

dummy

一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。  
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

## 1. 文書化サービス：変更不要

## 2. 配送サービス

### 1. Salesforce接続情報：変更不要

### 2. 文書ファイル・ライブラリ

1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定記事「Salesforce Files \[配送\] - セッション」 - OPSS - 株式会社オプロ](#)

### 3. オブジェクト

1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。

1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「承認待ち」に変更しております。

2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

**Salesforceの接続情報**

インスタンスURL

セッションID  実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。

ユーザーID

組織ID

**文書ファイル**

説明

カスタム項目

API参照名	値
<input type="text"/>	<input type="text"/>

文書データの登録 ☒ する ☐ しない

**ライブラリ**

ライブラリ  ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ  フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

**オブジェクト**

オブジェクトのAPI参照名  編集 API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID  編集 ☐ SOQL {レコードID} レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイル添付します。レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☐ する ☐ Attachmentにする ☐ しない ☒ サービスの設定を用いる 添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
Status	承認待ち

編集 ☐ SOQL



# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行 検索 エンベロープの

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除できません。

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(サンプル)_承認後実行	配布用のひな型です。 送付した書類が承認された際に実行します。
<input type="checkbox"/>		

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_承認後実行

## 1. 文書化サービス

1. リクエストパラメータ：変更不要
2. 文書名：変更不要
3. Zipファイルの場合：用途に応じて変更ください。

## 2. 配送サービス

1. Salesforce接続情報：変更不要
2. 文書ファイル・ライブラリ
  1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。  
[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]）](#) – [OPSS - 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)
3. オブジェクト
  1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。
    1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「承認」に変更しております。
  2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

②【文書化】アップロード文書

ワークの実行時にアップロードされたファイルまたは送信されたテキストを、文書として用いる文書化サービスです。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

リクエストパラメータ    
エンベロープパラメータを用いると、エンベロープがアクティブ化されるたびに異なるファイルを使用することができます。

文書名

アップロードファイル

ZIPファイルの場合

Salesforceの接続情報

インスタンスURL

セッションID  実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。

ユーザーID

組織ID

文書ファイル

説明

カスタム項目

API参照名	値
<input type="text"/>	<input type="text"/>

文書データの登録 ☒ する ☐ しない

ライブラリ

ライブラリ  ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ  フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名    
API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID   ☐ SOQL  
レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。  
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。  
[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☒ する ☐ Attachmentにする ☐ しない ☐ サービスの設定を用いる  
添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。  
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
Status	<input type="text" value="承認"/> <input type="button" value="編集"/> <input type="checkbox"/> SOQL

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行

ワーク エンベロープ サービス ?

エンベロープは、文書化や配送などを行う様々なサービスをひとまとめにした処理の単位です。  
ワークの実行中に、特定のデータなどをきっかけにエンベロープがアクティブになり、エンベロープにあ  
これによって、データのキー項目の値に応じて、配送方法を変えるなどといったことが可能となります。

新規作成 エンベロープを新規に作成します。

作成済みのエンベロープ

クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行 検索 エンベロープの名称と

検索結果の[設定]でエンベロープの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したエンベロープを削除できます。ただしワークで使用されているエンベロープは削除でき

	名称	メモ
<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>	クラウドサイン連携(サンプル)_却下後 実行	配布用のひな型です。 送付した書類が却下された場合に実行します。
<input type="checkbox"/>		

1. 「エンベロープ」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたエンベロープが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行」をダブルクリックで開きます。

# 【エンベロープ】クラウドサイン連携(サンプル)\_却下後実行

dummy

一つの空のファイルを文書として用いる文書化サービスです。  
文書化サービスを必要としないエンベロープで使用できます。  
このサービスでは、ワークの[文書とデータのマッピング]の設定は使用しません。

1. 文書化サービス：変更不要
2. 配送サービス

1. Salesforce接続情報：変更不要
2. 文書ファイル・ライブラリ

1. 下記サイトを参考に、用途に応じて変更ください。

[D3Workerのサービス設定（Salesforce Files \[配送\]）](#) –  
[OPSS - 株式会社オプロ \(opro.net\)](#)

3. オブジェクト

1. 更新するオブジェクトやSalesforce項目を指定します。
  1. 今回は契約オブジェクトの「状況（API参照名：Status）」項目を「却下」に変更しております。
2. ファイルの添付有無をご変更いただけます。

Salesforceの接続情報

インスタンスURL

セッションID  実行時にはセッションIDも必要です。エンベロープの設定でパラメータを指定し、ワークでセッションIDの値を指定してください。

ユーザーID

組織ID

文書ファイル

説明

カスタム項目

API参照名	値
<input type="text"/>	<input type="text"/>

文書データの登録 ☒ する ☐ しない

ライブラリ

ライブラリ  ライブラリが指定されている場合にのみ、ファイルをライブラリに公開します。

フォルダ  フォルダにファイルを登録する場合は、「フォルダ1/フォルダ2」のように、フォルダを「/」区切りで指定してください。存在しないフォルダは作成されます。

オブジェクト

オブジェクトのAPI参照名  編集

API参照名が指定されている場合にのみ、レコードの作成や更新・ファイル添付を行います。

オブジェクトレコードのID  編集 ☐ SOQL

{レコードID}

レコードのIDで指定されたレコードを更新・ファイルを添付します。  
レコードが存在しない場合、レコードのIDが空白の場合はレコードを作成して添付します。  
[SOQL]をチェックすると、指定値を、レコードのIDを取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

ファイルの添付 ☐ する ☒ Attachmentにする ☐ しない ☐ サービスの設定を用いる

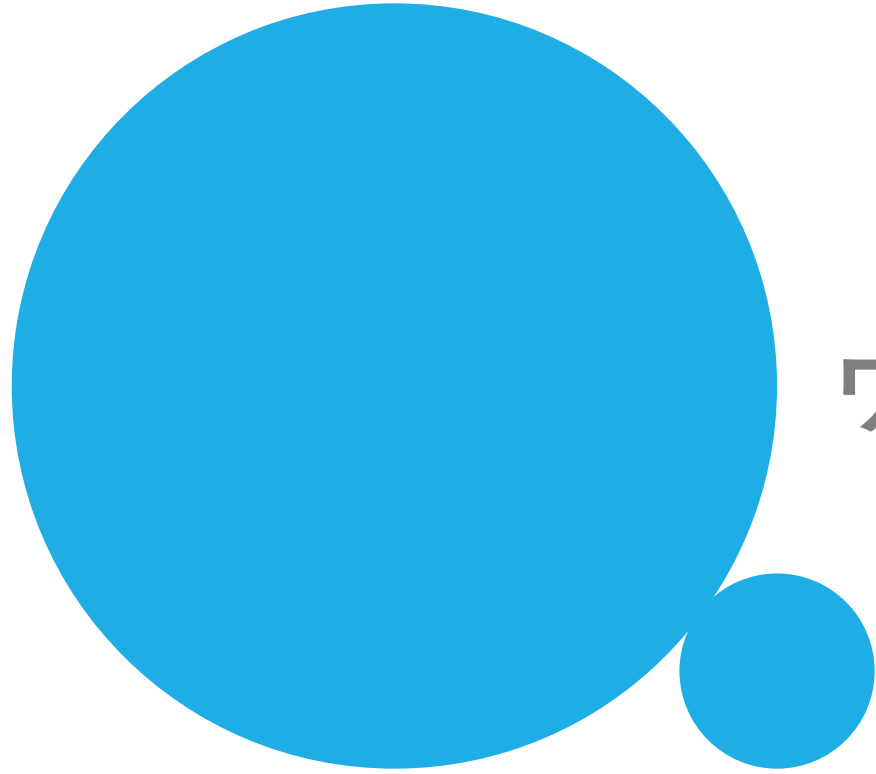
添付しない場合は、レコードの作成や更新のみを行います。  
Attachmentには文書ファイルのカスタム項目は適用されません。

項目

[SOQL]をチェックすると、指定値を、項目の値を取得するためのSOQLとして扱います。  
SOQLは、一つの項目を、一件だけ取得するものとしてください。  
SOQL内のエンベロープパラメータ値はエスケープされます。したがって引用符を含むSOQL全体をエンベロープパラメータで指定することはできません。

API参照名	値
Status	却下

編集 ☐ SOQL



# ワークの設定

# 【ワーク】クラウドサイン連携（[帳票名]\_）帳票DX for Salesforce

ワーク エンベロープ サービス ?

D<sup>3</sup>Workerは、データを取得し、その内容にしたがって文書化や配送などを行う様々なサービスの一連の動作を記述するのがワークです。D<sup>3</sup>Workerはワークを実行することで動作します。ワークでは、

- 取得するデータの定義
- サービスの集合であるエンベロープの指定と、そのパラメータとデータとのマッピング
- データを文書化する際の、文書とデータとのマッピング

を行います。

新規作成 ワークを新規に作成します。 インポート ファイルからワークをインポート

作成済みのワーク

検索 ワークの名

検索結果の[設定]でワークの設定画面を表示します。  
[削除]で選択したワークの削除が、[エクスポート]で選択したワークのエクスポートができます。

名称	メモ
<input type="checkbox"/> クラウドサイン連携（[帳票名]_）帳票DX for Salesforce	配布用のひな型です。

1. 「ワーク」タブを開き、「検索」ボタンをクリックするとインポートしたワークが表示されます。
2. 「クラウドサイン連携（[帳票名]\_帳票DX for Salesforce）」をダブルクリックで開きます。

# 【ワーク】 「基本」 タブ

基本	データソース	エンベロープ	文書とデータのマッピング
名称	クラウドサイン連携（ [帳票名] ）_帳票DX for Salesforce		
メモ	配布用のひな型です。		
件名			編集

## ● 名称\*

- [帳票名]の部分に対象帳票名をご入力ください。名称は自由ですのですべて変更いただいても問題ありません。

## ● メモ

- 検索ワードになります。自由にご変更ください。

## ● 件名

- ログに出てくる情報です。ワーク名を入れておくことをお勧めします。

# 【ワーク】 「データソース」 タブ

## ● フィールド名\* ※重要

- Salesforceから受け取る項目を指定しています。ここに指定されているデータを、後続のエンベロープや帳票に割り当てます。
- 実際のデータの指定（オブジェクト名・項目名等）は、帳票DX for Salesforceで行います。ここでは項目名のみの定義となります。
- エンベロープで{パラメータ}を追加した場合は、紐づける項目名をここに追加します。

基本

データソース

エンベロープ

文書とデータのマッピング

CSVの形式

文字コード

シフトJIS

先頭行

☐ データとして使用しない

フィールド

	フィールド名	+	×
1	取引先名	▼	×
2	取引先責任者	▲▼	×
3	取引金額	▲▼	×
4	契約終了日	▲▼	×
5	契約締結日	▲▼	×
6	契約開始日	▲▼	×
7	インスタンスURL	▲▼	×
8	セッションID	▲▼	×
9	ユーザーID	▲▼	×
10	レコードID	▲▼	×
11	組織ID	▲▼	×
12	※※帳票に※※	▲▼	×
13	※※必要な※※	▲▼	×
14	※※項目を入力してください※※	▲	×
CSVを取得		+	×

一括追加

追加するフィールド数 

追加

フィールドの読み込み

ここにCSVファイルをドロップしてください。  
先頭行をフィールド名として読み込みます。

ファイルを選択

選択されていません

キャンセル

実行



# 【ワーク】 「データソース」 タブ

8	※※契約書に※※	▲▼×
9	※※表示する※※	▲▼×
10	※※項目を入力してください※※	▲▼×
CSVを取得		+×

新規追加

## ● 帳票に必要なフィールドを追加する

- 適宜帳票テンプレートのフィールドに使用しているフィールド名を追加してください。

oproarts



CSV 定義

☒ 区切り記号付き  
フィールド区切り記号   
文字列の引用符   
☐ 先頭行を無視する  
☐ データ出力条件

このフィールド名をデータソースに追加する

フィールド名	データタイプ	形式
会社名_請求先	ext	
見積番号	ext	
注文番号	ext	
請求番号	ext	
郵便番号_請求先	ext	
住所 都道府県 請求先	ext	

追加 削除 上へ 下へ 形式の読み込み... サンプルCSV

帳票DX

要素 レイヤー データセット

データセット +

- Dataset1
  - 見積番号
  - 取引先名
  - 取引先住所
  - 郵便番号
  - 合計金額
  - 税額
  - 小計
  - 備考
- Dataset2
  - 製品コード
  - 明細

## 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ

### 選択済みのエンベロープ

クラウドサイン連携（[帳票名]）\_ 帳票DX for Salesforce

アクティブ化するフィールド

エンベロープフィールド ▼

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値

{インスタンスURL}	[インスタンスURL]	編集
{セッションID}	[セッションID]	編集
{ユーザーID}	[ユーザーID]	編集
{レコードID}	[レコードID]	編集
{取引先名}	[取引先名]	編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{取引金額}	[取引金額]	編集
{契約終了日}	[契約終了日]	編集
{契約締結日}	[契約締結日]	編集
{契約開始日}	[契約開始日]	編集
{組織ID}	[組織ID]	編集

- このワークで使用するエンベロープを紐づけています。サンプルの項目に関してはエンベロープを指定済みです。
- エンベロープで指定したパラメータにどのデータを引き渡すのか紐づけをしています。データソースで追加したフィールドを紐づける必要があります。
  - エンベロープで新しくパラメータを作成した場合は、データソースにフィールドを追加の上紐づけを行ってください。  
(次ページ説明)

# 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

エンベロープ> 設定

通知メールの本文

{取引先}  
{取引先責任者}様

いつもお世話になっております  
オプロの{担当者}です。

請求書を送付いたしますのでご査収ください。  
メール下部のURLリンクよりダウンロードいただけます。

よろしくお願いいたします。

ワーク> エンベロープ

Drive配信 ( [帳票名] )

アクティブ化するフィールド  
エンベロープフィールド

アクティブ化するフィールド値

☒ ELSEとして使用する

エンベロープパラメータの値		
{TODAY}	[TODAY]	編集
{org_Id}	[org_Id]	編集
{partner_api_url}	[partner_api_url]	編集
{recordId}	[recordId]	編集
{session_Id}	[session_Id]	編集
{user_Id}		編集
{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

## パラメータの紐づけ方

1. 「エンベロープ」の設定で{〇〇}（パラメータ）を作成すると、ワークのエンベロープにも追加されます。

追加されている

# 【ワーク】 「エンベロープ」 タブ <パラメータの紐づけ方>

ワーク>エンベロープ

{ファイル名}		編集
{取引先}		編集
{取引先責任者}	[取引先責任者]	編集
{担当者}		編集
{送信先}	[送信先]	編集

## パラメータの紐づけ方

1. パラメータの「編集」をクリックします。
2. 「データソース」欄にあるフィールド名から紐づけたいフィールドをダブルクリックします。

1. ダブルクリックすると、下枠の「エンベロープパラメータ」に[〇〇]と入力されます。
3. OKをクリックします。

エンベロープパラメータ {担当者}

利用可能な変数

リクエストパラメータ	データソース	システム変数
新規パラメータ	取引先	ジョブID
	取引先責任者	データソースの行番号
	送信先	
	金額	
	担当者	

エンベロープパラメータ {担当者}

[担当者]

追加される

ダブルクリック

OK キャンセル

## 【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

### ● 文書名

- 帳票のファイル名の命名規則です。
- 編集ボタンから、データソースと固定文言を組み合わせて指定することができます。
- 例：[取引先名]様向け請求書\_[TODAY]

### ● テンプレート名

- テンプレートまでのパスを入力してください。

基本 データソース エンベロープ 文書とデータのマッピング

文書名 ※ファイル命名規則を入力※ 編集

テンプレート

テンプレート名 バケット名/フォルダ名/テンプレート名 ※必須※ 編集

☐ フォントの埋め込みを指示する

切り替えフィールド

XAデザイナー画面

マイテンプレート 運用 > 契約書

新規追加 一括操作

<input type="checkbox"/>	名前
<input type="checkbox"/>	業務委託契約書.pdf - 20220527131423

このテンプレートを使う場合は、  
「運用/契約書/業務委託契約書.pdf -  
20220527131423」

# 【ワーク】 「文書とデータのマッピング」 タブ

マッピング

データセットの追加

データセット1

	データセットのフィールド値		
1	[取引先名]	編集	▼ ×
2	[取引先責任者]	編集	▲ ▼ ×
3	[契約開始日]	編集	▲ ▼ ×
4	[契約終了日]	編集	▲ ▼ ×
5	※※↑の項目等の書面に※※	編集	▲ ▼ ×
6	※※配置する項目を※※	編集	▲ ▼ ×
7	※※指定してください※※	編集	▲ ×

行の制御 単一行のCSV

一括設定

追加するフィールド数  追加

データソースの全てのフィールド 設定

テンプレートのデータセットと同じにする。

テンプレート

要素 レイヤー データセット

データセット +

Dataset1

見積番号

取引先名

取引先住所

郵便番号

合計金額

税額

小計

備考

Dataset2

製品コード

明細

## データセット

- 帳票テンプレートのマッピング定義と対応させます。
  - データセットの数はテンプレートに合わせて追加・削除してください。

# 【ワーク】「文書とデータのマッピング」タブ

## マッピング

データセットの追加

データセット1

データセットのフィールド値	編集	+	×
1 [取引先名]	編集	▼	×
2 [取引先責任者]	編集	▲▼	×
3 [契約開始日]	編集	▲▼	×
4 [契約終了日]	編集	▲▼	×
5 ※※↑の項目等の書面に※※	編集	▲▼	×
6 ※※配置する項目を※※	編集	▲▼	×
7 ※※指定してください※※	編集	▲	×

行の制御 単一行のCSV

一括設定

追加するフィールド数  追加

データソースの全てのフィールド 設定

## データセット

### ● フィールドの追加方法

- 「編集」 ボタンからデータソースのフィールドを追加してください。
- []で括られていればOK
- 一括設定から一括で入れて不要なフィールドを削除していくのが効率的です。
- 順番もテンプレートと同じにしてください。

フィールド8

利用可能な変数

リクエストパラメータ  
新規パラメータ

データソース  
金額  
※※帳票に必要な※※  
※※項目を※※  
※※ここに※※  
※※追加してください※※

エンベロープ情報  
件名  
属性1  
属性2  
属性3  
属性4

システム変数  
ジョブID  
データソースの行番号  
データセットの行番号

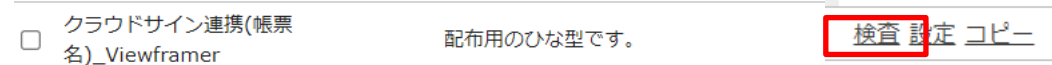
フィールド8  
[※※帳票に必要な※※]

ダブルクリック

[]で括られればOK

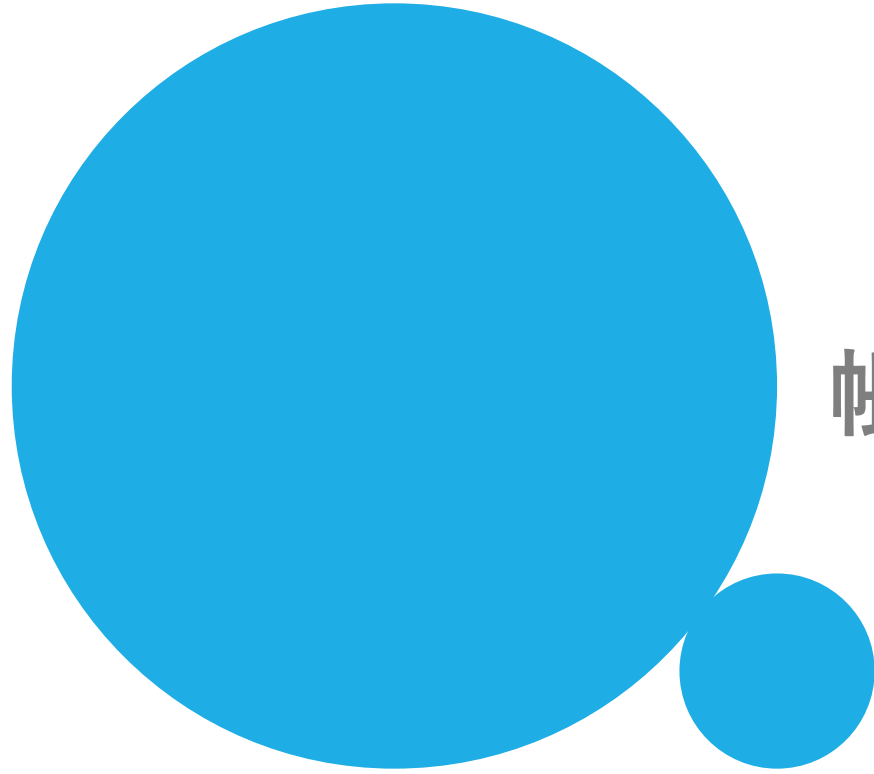
OK キャンセル

# D3Workerの検証



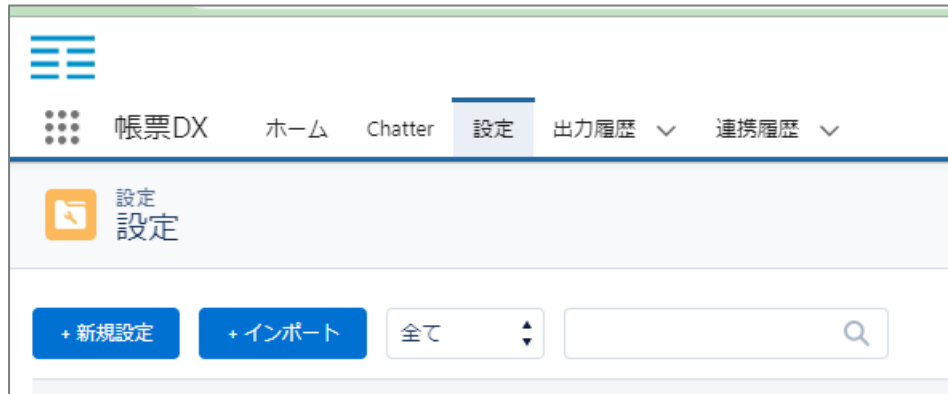
- 最後にワークの検証を行い、設定漏れがないかを確認します。
- 「ワーク」タブで、検査を行うワークの右にある「検査」をクリックします。
- OK：「実行可能な状況です」と表示されます。
- NG：どこの設定が不足しているか表示されます。





# 帳票DX for Salesforceの設定

# 帳票DX for Salesforceの設定



- Salesforceにログインし、「帳票DX」の「設定」タブを開きます。
- 「新規設定」をクリックします。

# 基本設定

## 1. 設定名：

- 一意のわかりやすい名前を付けてください。

## 2. 出力/連携：

- D3Workerを選択

## 3. タイプ：

- 単票・ヘッダー明細型を選択

設定  
基本設定

設定名 請求書\_帳票DXデモ用\_請求OBJ\_pdf(Drive連携)

出力/連携

出力

- ☐ PDF
- ☐ Excel
- ☐ Word
- ☐ PowerPoint

連携

- ☒ D3Worker

タイプ

- ☐ 一覧型
- ☒ 単票・ヘッダー明細型

出力方法

- ☒ ダウンロード
- ☒ メモ&添付ファイル保存

× キャンセル → 次へ

# オブジェクト選択

使用するオブジェクトを選択します。

## 1. 主オブジェクト

- メインとなるオブジェクトです。
- ボタンを設置するオブジェクトになります。

## 2. 明細オブジェクト

- 不要であれば選択なしです。
- 明細レコードの利用がある場合は指定してください。

設定  
オブジェクト選択

設定名 請求書\_帳票DXデモ用\_請求OBJ\_pdf(Drive連携)

オブジェクト一覧

(フィルター)

オブジェクト名	API参照名
<input type="checkbox"/> アクションプラン	ActionPlan
<input type="checkbox"/> 活動履歴	ActivityHistory
<input type="checkbox"/> 添付されたコンテンツドキュメント	AttachedContentDocument
<input type="checkbox"/> 添付ファイル	Attachment
<input type="checkbox"/> フィード: 請求	Billing__Feed
<input type="checkbox"/> 履歴: 請求	Billing__History
<input type="checkbox"/> メモ、添付ファイル、Google ...	CombinedAttachment
<input type="checkbox"/> コンテンツドキュメントリンク	ContentDocumentLink

オブジェクト選択

1.主オブジェクトを選択してください

請求

2.明細オブジェクトを選択してください(2件まで選択可能)

オブジェクト名	API参照名
<input type="checkbox"/> 請求明細	BillingDetail__c

← 戻る → 次へ

# 項目選択/出力詳細

設定  
項目選択 / 出力詳細

設定名    キャプチャ用請求書\_請求OBJ\_pdf(Drive連携)

ワーク    Drive配信 ([帳票名]) 帳票DX for Salesforce

## ワーク：

- D3Workerのワーク一覧がプルダウンに出ています。利用するワーク名を選択してください。
- ここにワーク名が出てこない場合は、前述の検査を行ってください。

オブジェクト    請求

項目一覧  
(フィルター)

項目名	API参照名
<input type="checkbox"/> カスタムオブジェクト ID Id	
<input type="checkbox"/> 削除 IsDeleted	
<input type="checkbox"/> 請求番号 Name	
<input type="checkbox"/> 作成日 CreatedDate	
<input checked="" type="checkbox"/> 作成者 ID CreatedById	

項目選択 / 出力詳細  
項目選択    パラメータ    連携履歴

項目名	API参照名	フィールド名
		TODAY
		組織ID
		artner API URL
		recordId

式追加

## 項目選択

- オブジェクトの項目一覧が左側に表示されています。
- 項目を選択し、「→」で右側に移動することで項目選択が可能です。

# 項目選択/出力詳細

項目選択 / 出力詳細

項目選択 パラメータ 連携履歴

項目名	API参照名
<input type="checkbox"/> TODAY	TODAY()

フィールド名

- TODAY
- 組織ID
- artner API URL
- recordId
- session\_Id

式追加

フィールド名に対応する項目を追加する。

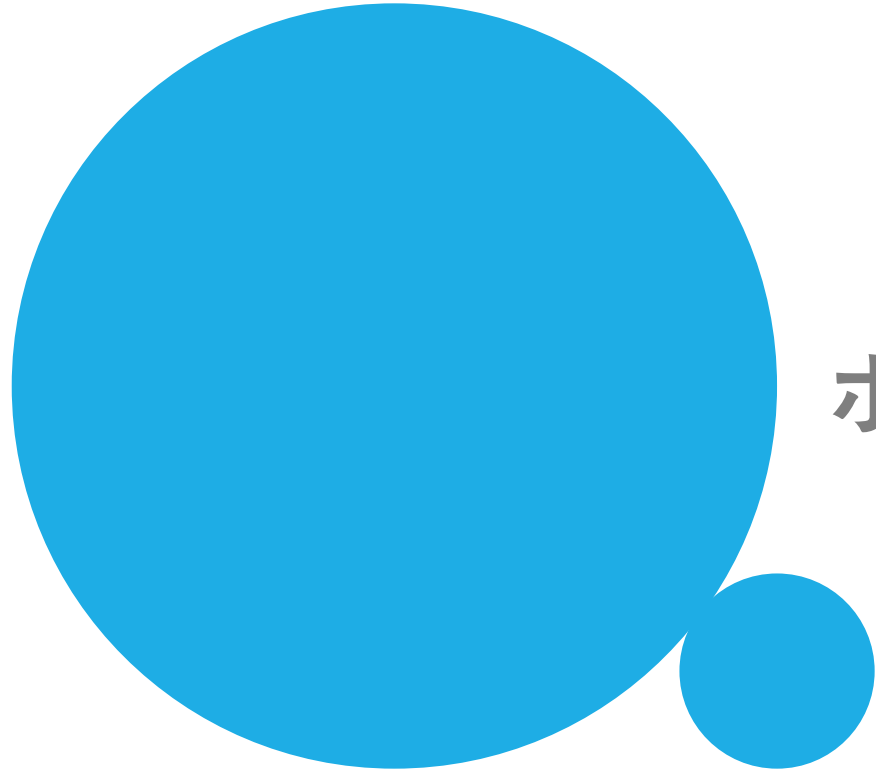
- フィールド名

- ここにはD3Workerのデータソースが表示されています。このデータベースに渡すSalesforceの項目を指定していきます。

- 項目名

- 右のフィールド名に対応する項目をここに追加します。順番もフィールド名に合わせてください。

完了したら保存してください。



# ボタン作成

# ボタンの作成

- 設定を開きます。
- 「ボタン生成」 ボタンをクリックします。

 設定  
請求書\_帳票DXデモ用\_請求OBJ\_PDF

出力/連携	PDF	タイプ	ヘッダー明細型
出力方法	ダウンロード		
主オブジェクト	請求	明細オブジェクト	請求明細
作成者	開発者	作成日時	2023/04/19 13:50
更新者	開発者	更新日時	2023/08/15 17:41

主 (請求) 明細 (請求明細)

項目名	式
請求番号	
作成日	
請求書発行日	
合計	
合計税額	
税込合計	

× キャンセル ⚙️ 設定編集 ≡ 項目編集 📐 レイアウト ➡️ 出力確認 🔗 ボタン生成



# ボタンの作成（ボタン設定）



ボタン設定 出力後更新処理

\* ボタンの種類

☒ アクション  
☐ リンク

\* ボタンを設置する場所

☒ 詳細ページボタン  
☐ リストボタン

活動履歴作成

☐ 作成する  
☒ 作成しない

\* ボタンのラベル

請求書 (Drive配送)

\* ボタンの名前

Quote

ボタンの説明

ボタンの説明

← 戻る ボタン生成

- ボタンの種類：
  - アクションを選択
- ボタンを設置する場所：
  - 任意
- 活動履歴作成：
  - 好きな方
- ボタンのラベル：
  - ボタン名です。わかりやすい名前を付けてください。
- ボタンの名前：
  - システム名です。英数字アンダーバーで一意的な名前をつけてください。

# ボタンの作成（出力後更新処理）

ボタン設定    出力後更新処理

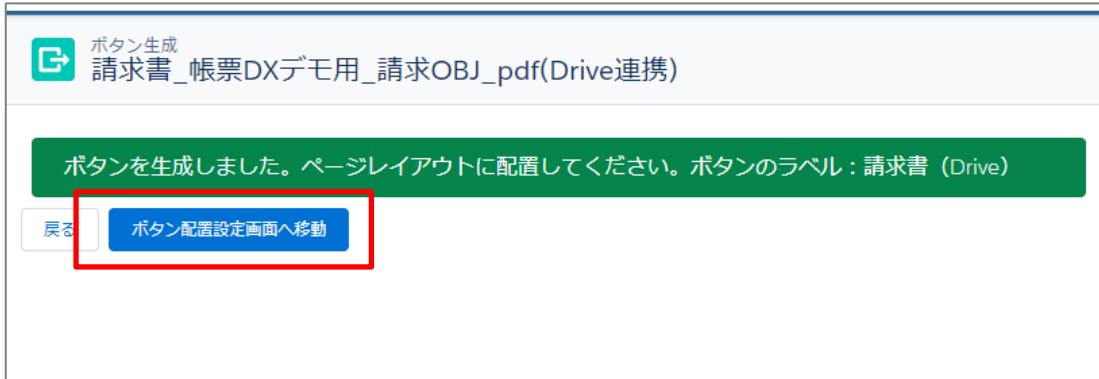
D3Workerへの連携を行った際に、処理対象レコードの更新を行う事ができます。当画面で更新内容を指定する事ができます。  
D3Workerでの最終的な処理の成否の確定を待たずに更新するためご注意ください。  
「単票・ヘッダー明細型」を選択している場合のみ、当設定を利用する事ができます。

更新先項目	種別	値
請求書送付済み(delivery__c) - BOOLEAN	固定値	true
(未選択)		

← 戻る    ボタン生成

- 出力後更新処理は任意の設定です。
  - クラウドサイン送付と同時に任意の項目の更新を行います。
- D3Workerの設定の中に、クラウドサインへの送付後と契約完了後の更新処理が入っていますので、それ以外で必要であればここで設定してください。
- クラウドサイン送付の完了/エラーを待たずに更新しますのでご了承ください。

# ボタンの作成



1. 必要な事項を入力したら「ボタン生成」ボタンをクリックします。

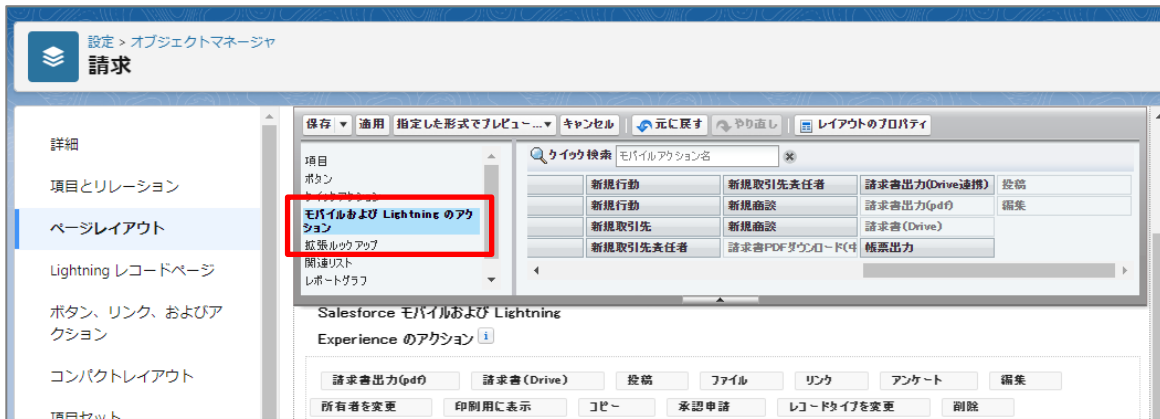
1. この時点でアクションボタンが内部的に作られています。

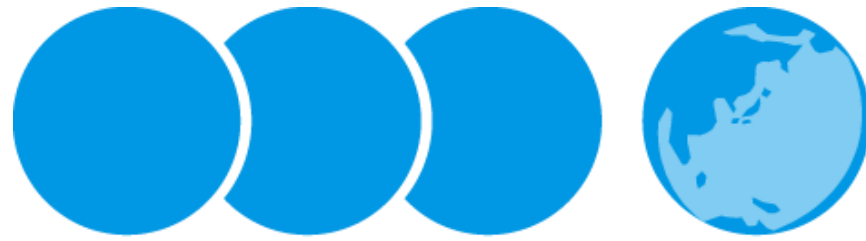
2. 「ボタン設置設定画面へ移動」ボタンをクリックします。

1. 画面遷移がうまくいかない場合はオブジェクトマネージャから親オブジェクトの設定画面を開いてください。

# レイアウトへ表示

1. ページレイアウトを開きます。
2. 「モバイル及びLightningのアクション」内からボタンをレイアウトに表示します。





**Less is More.**